

氏名	
----	--

平成21年度

神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

グループ活動による検査 (45分)

G
|
3

～全体の進め方～

- 1 自分の意見のまとめ (10分)
- 2 グループでの話し合いや作業 (30分)
- 3 活動のふり返り (5分)

————— 注 意 —————

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 「やめ」の合図があったら、とちゅうでも活動をやめましょう。
- 3 **自分の意見のまとめ**は、指示をよく読み、各自で課題に取り組みましょう。
- 4 **グループでの話し合いや作業**は、自分で考え、判断し、同じグループの人たちと協力して活動に取り組みましょう。
- 5 最後に、**活動のふり返り**の用紙に記入して検査は終わりです。

自分の意見のまとめ (10分間)

課題 次の文章を読んで、あとの(1)、(2)に取り組みましょう。

あなたの学級では、次のような先生の話聞き、学校生活の中にある『もったいない』ことを考えています。

先生 「みなさん、アフリカのケニアの^注ワンガリ・マータイさんが日本の『もったいない』という言葉と考え方に感動して、世界中に広めているのを知っていますか。日本では昔から物をむだにせず、大切に使う生活してきたんです。そこで、みなさんが学校生活の中で『もったいない』と感じた場面について具体的に考えてみましょう。」

このあと、学級で、『もったいない』と感じたことを出し合い、それを減らすために、学級の各グループで2つの呼びかけの言葉を作り、朝会で全校児童に発表することになりました。

注) ワンガリ・マータイさん
かんきょうほごじんけんそんちよう
環境保護と人権尊重に対する優れた働きにより2004年、ノーベル平和賞を受賞

(1) 次の①～④の場面について、『もったいない』と感じた具体例を、学校生活の中からそれぞれ1つずつ探して書きましょう。

場面	『もったいない』と感じた具体例
① 物をむだに使っている	
② 資源やエネルギーをむだに使っている	
③ まだ使える物を捨てている	
④ 資源としてリサイクルしていない	

(2) (1) で書いた具体例の中で、特に呼びかけていきたい2つの具体例を選び、付せん紙に1つずつ書きましょう。

※あとの「グループでの話し合いや作業」で、この付せん紙を使います。

グループでの話し合いや作業 (30分間)

活動 グループで、次の(1)～(5)に順番に取り組みましょう。

(1) 1人ずつ、2つの具体例を書いた付せん紙を、用意された①～④の場面ごとの【台紙】にはって、自分の考えを1分ぐらいで発表しましょう。

(2) どの場面で2つの呼びかけの言葉を作るのかをグループで話し合っ、【台紙】の①～④から2つ決めましょう。

(3) 朝会で発表するために、グループの中で2つの班に分かれ、それぞれの班が2つの呼びかけの言葉のどちらを担当するか決めましょう。

(4) それぞれの班で、具体例を使って全校児童に発表する呼びかけの言葉を作り、【台紙】に書きましょう。

(5) それぞれの班でくふうして、全校児童に対してわかりやすい呼びかけの言葉の発表ができるように練習しましょう。

【台紙】のようす

① 物をむだに使っている

(付せん紙)
具体例

(付せん紙)
具体例

(付せん紙)
具体例

(付せん紙)
具体例

(付せん紙)
具体例

呼びかけの言葉を書くところ

活動のふり返り (5分間)

受検番号	氏名

自分の意見のまとめ, グループでの話し合いや作業を通して, あなたが取り組んだこと, 学んだこと, 感じたことなどを書きましょう。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

下の欄には
記入しない

--